

㈱日吉屋

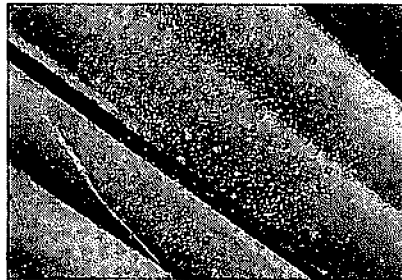
和傘の強化撥水加工

江戸後期の創業で京和傘を製造販売する㈱日吉屋(西堀耕太郎社長、京都市上京区)は、セミオーダーとして和傘の「強化撥水加工」を手掛けて好評だ。

この強化撥水加工は、和傘の風合いはそのままに防水性と耐久性を補うもので、和傘オーダー時のオプション加工として受け付けている。加工を施すことにより、撥水力と耐久力が数倍高まるという。

風合いは保ち 耐久力を強化

風情のある和傘も、しばらく使わないと和紙の部分がくっついたり破れてしまうのが難点。同社の撥水加工は、こうした和傘の欠点を改善するもので、さまざまな実験を繰り返し考案した。油の成分を使わず撥水性を高めており、和紙がくっつく心配もない。撥水加工した和傘=写真上=と未加工の和傘=写真下=。



強化撥水加工の費用は番傘と蛇の目傘が1,575円、野点(のだて)傘は6,300円から。同社は茶道家元御用達で、寺院用番傘の修理や寺紋・屋号入れなども行なう。

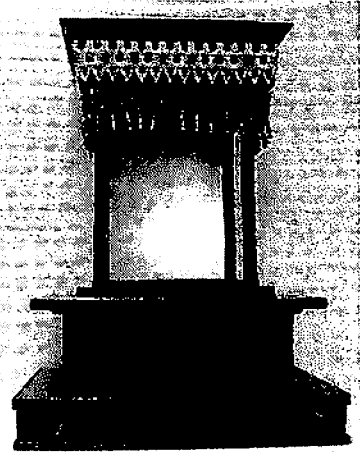
問い合わせは同社=電話075(441)6644、またはホームページ(<http://www.wagasa.com/>)まで。

イチ押し!

京仏具㈱小堀

仏壇「白鳳時代の厨子」

京仏具㈱小堀(京都市下京区)から、「古代厨子」シリーズの新作仏壇「白鳳時代の厨子」=写真=が発売された。「天平厨子」「飛鳥時代の厨子」に続くシリーズ第3弾。法隆寺の「橘夫人厨子」をモチーフとして、小型でシンプルなデザインながら高級感のある仕上がりが特徴だ。



高さ52cm。ベニマツ製の木地に、精製した天然漆を堅地塗りの技法で塗り上げた。正面中央の向う板は純金箔押し、上部にあるカーテン状の飾り「馬簾」(ばれん)は極彩色の仕上げ。完全受注生産で、注文から納品までは3ヵ月から4ヵ月程度の見込み。受注後、同市山科区の工房で職人が一基ずつ製作する。

古代厨子シリーズは白鳳時代の厨子で完結。同社では「このシリーズで大切な故人を偲びたい人の多様なニーズに応え、仏壇市場に新しいコンセプトを確立したい」と話していて、白鳳時代の厨子についてはネットでの動画配信などを通して海外向けにもアピールしていく計画。

価格は40万円。問い合わせは、同社=電話075(341)4121。

小型でシンプルかつ高級感ある最新作

東レ シルックエクセレント

軽くてふんわり「深い黒」

東レ㈱から、法衣用の黒羽二重「シルック」シリーズの新製品が発売される。特殊ポリエステル100%の「シルックエクセレント」で、この年明けから販売。礼服や喪服などブラックフォーマルの分野で培った技術を採用して「より深みのある黒を追求した」(同社)といい、合繊

最大手の同社が満を持して法衣地市場に投入する黒羽二重といえそう。

シルックシリーズは、昭和39年に生産が開始されたロングセラーの法衣用羽二重。定番の「シルック」と上位製品「シルックロイヤル」などがあり、新しくラインアップに仲間入り

する「シルックエクセレント」はしっとりした光沢と落ち着いた発色が特徴だ。

シリーズに使われる繊維は正絹に似た断面構造をしていて、着心地は軽くてふんわり。シルックエクセレントでは、こうした特性を持つ繊維にミクロの凹凸をつけることで、

染料の吸収率を高めて光の反射も抑えた。ブラックフォーマル市場は合繊各社がしのぎを削る激戦区とされ、素材技術の水準が高い。シルックエクセレントの黒は「最新の黒」といってよく、同社では法衣用の極上羽二重として需要を見込んでいる。



ご婚礼に、パーティーに

神宮外苑の杜に、優雅な気品と風格が漂います。新しい時代の感性を兼ね合わせたプライダルスペース。ご結婚披露宴はもちろん、大規模なパーティーからご家族の記念日など